

製品安全データシート

【販売元】

会 社：株式会社サンワ
 住 所：東京都江東区牡丹2-12-4
 電話番号：03-3642-1255
 作 成：2018年6月11日
 文章番号：X180529

【緊急連絡先】

株式会社サンワ
 電話番号：03-3642-1255

【製品名】

水まわりリセットコート

【危険有害性の要約】

危険有害性情報
 物理化学的危険性：該当しない
 健康に対する有害性：該当しない

| GHS 分類 | 危険含有性クラス | 危険含有性区分 |
|-----------|----------------|-----------------|
| 物理化学的危険性 | 非可燃性液体（水溶性） | 該当しない、または分類できない |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経皮) | 分類できない |
| | 急性毒性(経口) | 分類できない |
| | 急性毒性(吸入：蒸気) | 該当しない |
| | 皮膚腐食性/刺激性 | 分類できない |
| | 眼に対する重篤な損傷/刺激性 | 分類できない |
| | 呼吸器感作性 | 分類できない |
| | 皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原生 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 分類できない |
| | 特定標的臓器毒性(単回暴露) | 分類できない |
| | 特定標的臓器毒性(反復暴露) | 分類できない |
| | 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | 水生環境急性有害性 | 分類できない |
| | 水生環境慢性有害性 | 分類できない |

ラベル要素：該当しない
 注意喚起語：該当しない

注意書き

【予防策】

- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
- ・ 取り扱い後は手および付着部分をよく洗うこと。
- ・ 環境への放出を避けること。

【保管】

- ・ 涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。温度の大きい変化、凍結を避ける。
他の製品の混入に注意。

【廃棄】

- ・ 内容物および容器は国/地方自治体の規制に従って廃棄すること。

【組成及び成分情報】

単一品・混合物の区別：混合物

| 成分名/化学名 Compound name | 含有量 (wt%) Content | CAS No. CAS number | 化審法 Chemical Substances Control Law |
|--------------------------|----------------------|-----------------------|---|
| シリコーン系重合体 | 3.5~4.2 | 非公開 | 非公開 |
| セラミックス化合物 | 0.6~1.1 | 非公開 | 非公開 |
| イソプロピルアルコール | 0.1以下 | 67-63-0 | 2-207 |
| 香料 | 0.02~0.04 | 非公開 | 非公開 |
| 水 | 94.6~95.8 | 7732-18-5 | 適用除外 |

【応急措置】

- ・ 眼に入った場合：
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。快癒しない場合は医師の診断を受ける。
- ・ 皮膚に触れた場合：
多量の水と石鹸で洗うこと。快癒しない場合は医師の診断を受ける。
- ・ 吸入した場合：
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。快癒しない場合は医師の診断を受ける。
- ・ 飲み込んだ場合：
水でうがいし、口の中をよく洗う。無理に吐かせないこと。快癒しない場合は医師の診断を受ける。

【火災時の措置】

消火法および消火剤：

- ・ 本製品は水を多量に含んでいるため燃える危険性はないが、水分蒸発により可燃性となる。消化は、火元への燃焼源を断ち、炭酸ガス、泡消火剤、泡消火器などを用いて空気を遮断し、霧状水で冷却する。

消火作業の注意：

- ・ 消火作業では燃焼ガス中には炭酸ガスや一酸化炭素が含まれるので、酸欠及び一酸化炭素中毒に対する注意が必要であり、室内などでの消化はボンベ式空気呼吸器を使用する。可能な限り風上から消化する。

消火方法：適切な保護具(耐熱性着衣等)を着用する。

- ・ 高温にさらされる密閉容器は水を掛けて冷却する。

【漏出時の措置】

人体に対する注意事項：

- ・ 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

環境に対する注意事項：

- ・ 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて回収する。

【取り扱い及び保管上の注意】

取り扱い

技術的対策：

- ・ 取り扱い場所は換気を良くし、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。容器はその都度密栓する。
- ・ 吸入、皮膚への接触を防ぎ、また目に入らないように適切な保護具を着用する。
- ・ アルコール、酸、アルカリ、強酸化剤、触媒作用のある金属、金属化合物との接触回避

局所排気・全体換気

- ・ 取り扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取り扱う。
- ・ 接触、吸入または飲み込まない。
- ・ 取扱い後はよく手を洗う。

【保管】

- ・ 涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。
- ・ 温度の大きい変化、凍結を避ける。
- ・ 他の製品の混入に注意。
- ・ ガラス製の容器に移し替えないこと。

【暴露防止及び保護措置】

設備対策：取扱い場所には、局所排気装置、全体換気装置を設置する。

保護具：作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

【物理的及び化学的性質】

物理的状态

外観：青色液体

臭い：柑橘系

pH：4.2～5.1

沸点：約 100℃

融点：0℃以下

比重(20℃)：1.02～1.03

溶解度：水に易分散

引火点：なし

発火点：非該当

【安定性及び反応性】

- ・ 安定性：安定
- ・ 酸化性：なし
- ・ 強酸性：なし
- ・ 腐食性：不明

【有害性情報】GHS 分類の区分判定

急性毒性

- ・ 経口：情報なし
- ・ 経皮：情報なし
- ・ 吸入：蒸気成分は水(区分外)
- ・ 眼に対する重篤な損傷・刺激性：情報なし
- ・ 呼吸器感作性：情報なし
- ・ 皮膚感作性：情報なし
- ・ 生殖細胞変異原性・情報なし
- ・ 生殖毒性：情報なし
- ・ 特定標的臓器毒性(単回暴露)：情報なし
- ・ 特定標的臓器毒性(反復暴露)：情報なし
- ・ 吸引性呼吸器有害性：情報なし

【環境影響情報】 GHS 分類の区分判定

- ・ 生態毒性：知見なし
- ・ 残留性・分解性：知見なし
- ・ 生体蓄積性：知見なし
- ・ 土壌中の移動性：知見なし
- ・ その他の有害影響：知見なし

【廃棄上の注意】

- ・ 適切な廃棄の方法：廃棄物は関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
- ・ 汚染容器・包装：関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- ・ 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去する。

【輸送上の注意】

- ・ 国内規制 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇法に定めた輸送方法に従う。
- ・ 海上輸送：船舶安全法に定めた輸送方法に従う。
- ・ 航空輸送：航空法に定めた輸送方法に従う。
- ・ 国連分類／国連番号：該当しない
- ・ 一般的注意事項：容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。「7、取り扱い及び保管上の注意」を参照。

【適用法令】

- ・ 労働安全衛生法：該当しない
- ・ PRTR 法：該当しない
- ・ 毒物及び劇物取締法：該当しない
- ・ 消防法：該当しない
- ・ 水質汚濁防止法：排水は、排出基準に適合しなければならない。
- ・ 輸出貿易管理令：
別表第1の1～15項に対しては非該当。
別表第1の16項は該当（キャッチオール規制）。

【その他の情報】

参考文献

- 1, 化学物質等安全データシート (MSDS) JIS-Z 7250
- 2, 日本産業衛生学会、産業医学 35 巻 P323-367 (1993)
- 3, 産業中毒便覧 (増補版) 1992 年
- 4, 「既存化学物質データ要覧」1974 年 海外技術資料研究所
- 5, 「危険物・毒物処理扱いマニュアル」1974 年 海外技術資料研究所
- 6, 魚類と水中生物に及ぼす化学品の毒性データ インダストリアルデータセンター (1973)
- 7, ACGIH-Documentation of the Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices (1992-1993)
- 8, NIOSH:1982-1983 Registry of Toxic Effects Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices(1992-1993)

* 本資料は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、含有量、物理的・化学的性質、危険、有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さるようお願い申し上げます。